

42 破天荒

令和 元年度版
創刊
第二十一号

四回生の終業式を迎えました

元号が令和に改元され、新天皇陛下の誕生に沸いた中で、四十二回生は、相生高校入学後四度目の終業式を迎えました。

入学以来、高大入試改革という言葉に振り回されている感も否めません。特に英語においては、受験資格、加点率点化などなど、何のために日々学ぶのか、何のために資格取得のチャレンジをするのか、本質が置いて行かれていく気がするのでは私だけでしょうか。

七月二日には、TOEICという、大学入試英語成績提供システムへの参加を予定されていた国際ビジネスコミュニケーション協会が、その参加を取り下げたことを表明しました。本校生が利用するケースは、あってもごく僅かかもしれませんが、全国の二〇二一年度大学入試を目指す生徒達には、たまったものではありません。

本校でも、GTEC、英語検定(ただし、英語検定は実施予定日・内容等が未発表であった)の受験機会・受験時期の調査をさせて頂いている最中でしたが、時を同じくして七月二日に、ついに英語検定協会も実施概要を発表しました。本校進路指導部長より情報を頂き、HP等を利用して情報の整理を行いました。以下に、現段階での整理した状況を掲載します。

【事実】五月十二日現在、出願資格に検定資格を課す国立公立大学が五十二校。加点として認める国立公立大学五十三校。出願資格十校。十校など。勿論、私立大学も数多く、例えば、近いところでは、関西学院大学などでは、AO・推薦入試・今でいうセンター利用入試においては、英検等の資格取得が必要です。興味がある大学の入試情報は、自分達でも『いま』調べてみましょう。

【注意】四十二回生が、出願資格等として有効になるのは、二〇二〇年四月以降に受験した、認められた資格試験から得られた結果です。

それを得るための受験機会は、最大二回(例えば、英検で二回・GTECで二回)という意味ではありません。全部でその年度に二回です。

因みに、例えば英検二級とはどのようなレベルかというと、本校において、二級を取得した場合、増加単位という扱いで、コミュニケーション英語という科目の単位取得が増加して認められます。つまり、簡単に取得できるものではないということです。加えて、一回当たりの受験料。よく考えていただきたいと思います。

さて、もっと大きな問題は、英検協会が出した実施要項です。

来年度四月から七月のうちに一回の受験を、二〇二〇年度前期とし、これを受験したければ、再来月九月に予約申込金三千円を支払って予約すること、七月に通達してきました。十二月に本予約を行い、四月から七月のどの機会でも受けるかを選ぶことができるということです。仮予約をして本予約までに、受験しないことを決めても、返金はされないそうです。お金の問題もさることながら、例えば、現三年生が受験を希望する大学でも、AO・推薦入試を利用する場合に、英語の資格取得が出願条件になっている大学もあります。情報に振り回されず、ただし、敏感にならないといけないかと思えます。次年度の入試出願に関する情報も、各大学HPに掲載されているので、確認しましょう。

一般的には、ほとんどの生徒は受験勉強が進んだ来年度後期の英検・もしくはGTECでの受験機会を生かすべきだとは思いますが、しかし、前述した通り、これらの資格は、本校の生徒が、二学年以降の一年間の学びに対して与えられる単位と同レベルのもので、そう簡単に取得できるものではないことがどこかに置いて行かれて、受験すれば通る錯覚を持ってしまします。

受験機会がどう与えられ、どう申し込み、いくらかかるかを伝えるのは我々の仕事ですし、どう力をつけさせるかも我々の仕事ですが、手に入れてやるんだという気力を充実させ、日々の努力を継続し、手にするのは生徒それぞれの性根にかかっています。

「まだまだ先」が、もうすでに「再来月」に、などという、本来ではあり得ない、どたばたな情報提供にも、皆さんの不利にならないよう連絡をしていきます。聞き漏らしのないようにして、それ以上に、あとは受験資格獲得ができる努力をしてください。

では、改めて 二学年第一学期終業式を迎えました

この学年が上がり、後輩を迎え、新しい仲間とともに過ごしたこの一学期が、各々はどう評価しますか？

やるべきが増えた、要求レベルが上がった、慣れてきたので要領よくできるようになった、がむしやらがなくなった、妥協が増えた。一年と同じようにやっても小テストの結果が思うようにならなくなった、やっても駄目かなと思うようになった、今じゃなくてもまだまだ先があると思ふように聞かせるようになった、自分分ってホンマにこんなもんなのと悔しさが芽生えてきた、言っている暇があったらやるしかないやっています。

もともと皆さんの課題で日々の生活に追われている学校、課題以外に、自分達の意志による学習の確保が成り立っている学校、ただ何となく楽しいのかどうかわからない学校。皆さんにとっての相生高校は、「楽しいと思う」ことをしている瞬間の楽しさなのか、苦しさを「悔しさ・嬉しさ」の先にある達成感とともに得られるものを「楽しさ」と考えるのか。いつまでも、「アリとキリギリス」のたとえ話ではない。楽しさを、成果や喜びを持って言える、そんな高校生に早くなって欲しい。若いのに、最小努力の何となく効果ではなく、最大努力の最大の器が広がった効果を目指そう。

Thanks For Vilin!!

本校 ALT の Ms. Vilin が、一学期終業式をもって本校、日本を去ることになりました。

彼女に、相生高校での三年間を振り返って一番の思い出を尋ねると、四十二回生を相手に一年間かけて関わってくれた English Day であると応えてくれました。

彼女との関わりが深かった ESS 部員に、この話を伝えたところ、四十二回生として何か Vilin にできないだろうか、と、ある企画をしてくれました。

一学期最後の学年集会のことは、Vilin にとっても、生徒の皆さんにとっても、大きな思い出となることを祈りたいと思います。

保護者の皆さんも、皆さんのお子様が、お世話になった Vilin に、何を投げかけたかを話す機会にして頂きたいと思えます。

以下は、Ms. Vilin から四十二回生に対してのメッセージです。

To my lovely students,
 I am so glad to have had the opportunity to teach you all for the past 2 years.
 But now it is time for me to say good bye .
 You all have done so well . Especially last year on English Day . It was an event Aioi High School never done before , and we did it together ! Isn't that amazing?!

You should be proud of yourself for being able to communicate in English with the ALTs . They were all very impressed with your presentations and enjoyed their time talking with you . I hope English Day will become a reminder to you that you can do ANYTHING as long as you NEVER give up .

I 'm very proud of you and I BELIEVE that you will do great things in your future .

Just remember that mistakes are 100% OK ! Mistakes make you STRONGER .

I wish you all the best for your future and good luck!!

Last Message From Ms.Vilin

相高祭各クラス感想

四十二回生は、今年度各行事において、ただ単にその感想を自由に書くのではなく、大目標(一言感想)中目標(目標達成のためのキー)を考えたいと、自分の想いを振り返り、九十字以上百字以内にまとめるということをしております。想いを書くだけでなく、制限された中で自分の伝えたいことをまとめ切ることを、次の一年の目標にしています。

先月行われた相高祭についても、各クラスの中で、よくまとめられたものを記載させていただきます。この先は、字数をもう少し増やしていきたいと思っております。この字数が意味するものは、志望理由・小論文のまとめ等で出会う字数です。あと一年。どれだけの練習ができるだろう。その瞬間に付け加えるもの。どのタイミングでも入れるべき想い。理解して、練習をしてください。

相高祭の劇の一番の課題は、観客にどう伝えるかだったと思います。舞台上で喋るのではなく、伝えるためにどう話をしたり、工夫して分かり易くするか。このようなことを考えて演じることができたので、良い経験になりました。
 (五組男子)

私は相高祭を終えて、みんなと同じ想いを抱いて、同じ目標に向かって突き進んでいくことの素晴らしさを学びました。ただ、それと同時に同じ思いを共有することの難しさを、この行事を通して学ぶことができました。
 (五組男子)

今年の文化祭を通して、クラスのために何ができるかをよく考えて、積極的に行動することができました。中心で動いてくれた人に任せてしまっていた部分も多かったのですが、これからはもっとクラスに貢献したいと思います。
 (二組女子)

自分だけが楽しむだけでなく、周りの人を全力で楽しませるということを達成することができた文化祭だと思います。思うような結果じゃなかったけれど、自分達が満足できる文化祭をすることができて良かったです。
 (一組女子)

僕は、ここまで行事に本気になれたのは初めてです。最優秀賞を目標に毎日練習して、裏では準備して、本番は大成功でした。結果は望んでいたものではなかったけれど、最後にみんなが悔しがったのは、どこよりも頑張ったからです。
 (一組男子)

劇と展示両方という大変なことになったけれど、皆本気で頑張れた。まだ、進級して二か月ほどだが、半年以上一緒にいたようにさえ感じるほどの団結力ができたと思う。私的には、部活動も同じくらい頑張れた。
 (三組女子)

私たちは初めに、最優秀賞をとることを目標にしました。本番までは、一人一人が自分のできることをやり、本番では自分達も楽しみました。そして、目標であった最優秀賞をとることができ、とても嬉しかったです。
 (二組女子)

クラス全員で劇、アトラクションの両方をするのはとても大変でした。クラス内でもめたりしたときは本当にどうしたらよいのか分からず、とても悩んだけれども、周りの友達の手助けもあって乗り越えることができました。
 (三組男子)

相高祭では、他クラスのステージ発表を見終え、自分達の出演が近づくにつれ、不安な気持ちでいっぱいだったけれど、練習以上に良い終わり方で、やり切った後の、クラスみんなの笑顔がとても良かったです。
 (四組男子)

出演の有無に関係なく全員が、目的と目標を持って取り組むるといった意識で活動しました。大人数の前に立ち、誰かを楽しませることは簡単ではないけれど、笑顔を見られた時に得た達成感忘れられないと感じました。
 (四組女子)

夏休み これだけは

担当教科の先生からのプレゼントです。

『 夢は語るためではなく 叶えるためにある

夢への道はスマートではなく 泥臭いものである

叶えなければこたわれ こたわれなければ語るな

努力なくして達成はない

日々 これだけは にこだわった夏休みを 』

国語	「解法古文単語 350」「漢文学習必携」を一頁ずつ例文で覚える
日本史	教科書を最終ページまで読む
世界史	オリエント興亡表・アテネ民主政・ローマ帝国
地理	地図の種類・気候・地形図の理解
数学	AM:ベクトル PM:計算練習 Night:模試問題 一日3問 of 2019盛夏MathMath成果あり
化学基礎(文)	化学式の完全暗記
化学	化学式の完全暗記と物質量(モル)計算
物理	物理基礎の完成を目指せ 課題をこなす
生物	理科基礎の復習 特に人体についての内容
英語	夏休み課題を、答えを見ずに、必ず自力で解く 読む・書く・聴く

四十二回生生徒会が中心になって開催となった一学期球技大会は、梅雨の合間を縫って、午前中は曇り空、爽やかな風の中で、そして、球技大会が滞りなく進行したご褒美のように、午後には太陽の光を浴びて、怪我人もなく終えることができました。三年生のパワーには多少押されましたが、

- 男子 卓球 一位 四組
- 男子 テニス 三位 四組
- 女子 テニス 三位 四組
- ソフトボール 三位 二組

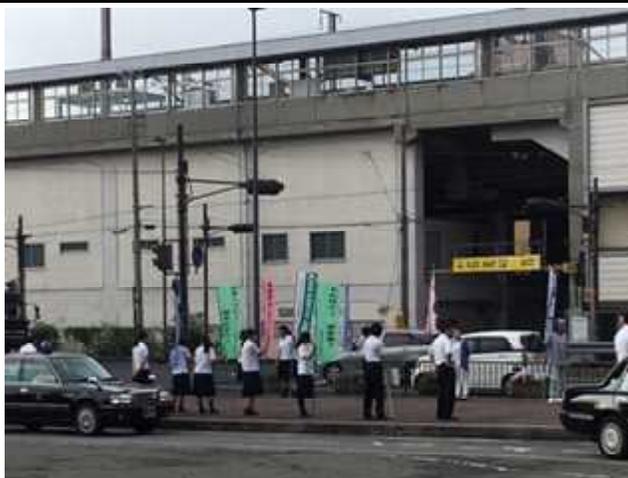
生徒会ご苦労様。勿論、生徒会だけで成り立ったものではありません。チーム四十二回生、チーム相生として、次に向かっていこう。



球技大会



実はこの日の午前中、長崎県立西陵高等学校から、昨年度四十二回生一学年時に、総合的な学習の時間に行った「わがまち相生探究活動」について、話を伺いたいと、二名の方が訪問されました。皆さんとともに、苦労もありましたが、皆さんが残してくれた成果を、じっくりとお話ししました。一時間の予定を超えて、数多く興味を持ち、質問を受けたことは、事実として伝えさせていただきます。



挨拶運動

球技大会も終わり、前日の雨に少し心配しましたが、十二日金曜日に七月の挨拶運動が行われました。審査中の評議委員会でも、挨拶運動の話が出ておりましたが、「頑張れ二年生！」という気持ちで、五月の挨拶運動以来、相生駅に向かいました。

安心しました。生徒会の皆さん、今の心と行動を忘れずに、三月まで個々が責任を全うしてください。

7月

保護者の皆様へ

今学期面談の際に、我々教師団も含めて、生徒の一部とともに、全国国公立大学大学探訪と銘打って、進路研修資料を配布させていただきました。生徒達には、終業式に配布します。

四十二回生は、変革する入試になり、共通テストにおいても、記述部分の自己採点も曖昧になり、前述の英語資格についても、どう加点されるかはまだまだ未知数です。だからこそ、目指すためではなく、学ぶ機会が得られる大学の情報を、早いタイミングで深く知ること、今何となく第一志望にしている大学を、本気で目指すようになれます。オープンキャンパスも、もちろん大切ですが、イベントで終わらせるわけにはいきません。

これを機会に、家庭でも大学について会話の題材にしてください。

夏季休業中用進路課題も用意しております。その内容も、プリントを見て何を狙いに行っているかをお話ししていただくと幸いです。

八月二十八日全統模試について

申込の際、連絡した通り、当日のみの受験です。やむを得ず当日に受験できなかった者は、問題・解答等を配布します。進研模試と異なり、返金は出来ません。

ただし、気象警報等が発令された場合は、翌日二十九日に同時帯で実施します。

夏休み読書の勧め

スマホとともに、どんどんと活字離れが進み、ページをめくるという、指先を使った動作がどんどんなくなっています。

今回提出する読書感想文は、一生の中で最後の感想文になるでしょう。忙しい中ではありますが、こんな機会に活字と向かい合ってください。それが、普段もう少しだけ教科書に触れる、教科書を読む、教科書の行間を探ることができるようになるのではないのでしょうか。ページをめくるとともに、指先から感じられる何とも言えない触感に、様々な風景が結びつきます。読書には、まるで、VRの世界のような感覚があるものです。

最近読んだ本

友情 2 山中伸弥

本年は、日本でラグビーワールドカップが行われます。平尾誠二さんが亡くなられて間もなく早や三年。ラグビー選手でありながら、寄稿されているのは、ラグビー経験者はもちろん、様々な財界人、そして、家族。
四十二回生の多くの皆さんは、畑違いの人物であると思います。だからこそ、こんなときに読んでみてほしいと思います。

百田尚樹さんの本

いろいろ賛否両論あると思います。だが、極論から感じ、対極から同じものを見るとどう見えるのかを感じられる気がします。好き・嫌い、共感・反感、そして、自分はどうか考える？もし良ければ、手にしてみてもいいものです。

小説を一冊如何ですか？

推理小説、歴史小説、名作など。一度読んだものでも構いません。また違った捉え方ができますよ。因みに、私は、学生時代に何度か『十五少年漂流記』を読みました。歳をとってから読むと、意外と幼稚性を感じたりすることなく、親目線なり、主役目線で読んだものです。

夏季休業中にチャレンジするもの

令和元年度 神戸大学高大連携特別講義

理系 二名

文系 二名 計四名

五国SSH連携プログラム

プラネタリウム解説体験

理系 一名

国際的科学技术人材育成挑戦プログラム

理系 一名

海外留学予定者

文系 一名

理系 一名 計二名

他にも特に申出はないが、チャレンジを考えている者もいると思います。

若いうちに、良い出会い、良い経験をしてきてください。そして、四十二回生に投げ返し、波紋をひろげてほしいものです。